

横浜 Yokohama Renaissance ルネサンス



Number 19

特集

春の公園
歌しるべ

Who's Who in YOKOHAMA
石川あきこさん

横浜信用金庫

特集

春の公園 歌しるべ

ミュージシャンたちが紡ぐ詞にのせて



A Table of Contents

特集

春の公園歌しるべ

三溪園 4
ガイド&モデル=Junko(Magician)

久良岐公園 6
ガイド&モデル=mico65(hamajo)

舞岡公園 8
ガイド=Miyuki(LiLi)
モデル=河原咲江(hamajo)

県立三ツ池公園 10
ガイド=まんほー(CHURU-CHUW)
モデル=ひさの(hamajo)

岸根公園 12
ガイド=宇田晋也(N.U.)
モデル=山口真麻(hamajo)

根岸森林公园 14
ガイド&モデル=新海美早紀(hamajo)

山下公園 16
ガイド=庭瀬幸一郎(N.U.)
モデル=国井ゆみ(hamajo)

横浜を詠む 水原紫苑 写真:矢部志保 18

Who's Who in YOKOHAMA

石川あきこ スタイリスト 20

日吉の人気スタイリストは
有言実行で自分を追い込むタイプ

横浜の聴き方 第12回 中島久 22

『緑色の kiss kiss kiss』沢田研二はメディアである

横浜ジェリービーンズ俱楽部通信 23

ごあいさつ

横浜信用金庫理事長
斎藤 寿臣

『横浜ルネサンス』第19号をお届けします。『横浜ルネサンス』は、当金庫の創立80周年記念事業の一環として、2002年10月に創刊しました。当初は年1回の発行でしたが、2006年から春と秋の年2回発行しています。

本号では、特集「春の公園歌しるべ」と題して、横浜在住のミュージシャンやhamajoモデルの皆さんにおすすめの横浜の公園を紹介していただくとともに歌詞を提供していただきました。

Who's Who in YOKOHAMAでは、スタイリストの石川あきこさんをご紹介しています。

第12回「横浜の聴き方」では、沢田研二を取り上げています。

『横浜ルネサンス』第19号、お楽しみいただければ幸いです。

hamajo
yokohama girl's style&culture magazine

about (hamajo)

hamajoとはヨコハマが大好きな女の子「ハマジョ」たちがつくる、オソナノコのためのカルチャーメディアです。

<http://hamajo.jp>

表紙撮影 = 矢部志保

モデル=山口真麻 (hamajo)

生糸貿易により財を成した実業家で茶人の原富太郎によってつくられた。名称の三溪園は原の号である三溪から。2006年(平成18)11月17日に国の名勝に指定された。(現在、重要文化財10棟・横浜市指定有形文化財3棟)。戦災により大きな被害をうけ、1953年(昭和28)、原家から横浜市に譲渡・

寄贈されたのを機に、財団法人三溪園保勝会が設立され、復旧工事を実施し現在に至る。

【交通手段】

■JR根岸線根岸駅より

●横浜市営バス 58系統(横浜駅・みなと赤十字病院行き)、

99系統(桜木町駅行き)、101系統(保土ヶ谷車庫行き)乗車。
本牧下車・徒歩7分。

三溪園

ガイド&モデル=Junko (Musician)



横浜本牧に位置する三溪園は、緑が豊かな庭園です。ここは、横浜の実業家、原三溪の元邸宅で、1906年(明治39)に一般公開されました。1953年(昭和28)には原家から横浜市に譲渡・寄贈され、現在も美しい日本の風景を私たちに届けてくれます。17万5000平方㍍におよぶ広大な敷地面積は、生糸貿易によって財を成した原三溪の功績を物語つているようです。

私は、この素晴らしい庭園で二度、コンサートに出演しました。ステージとなつたのは三溪園外苑・旧燈明寺本堂。京都燈明寺より移築されたもので、重要文化財にも指定されているとっても貴重な建造物です。三溪園ではこのように鎌倉時代の古建築を見る事ができます。

私は、この素晴らしい庭園で歌ったのは七夕の季節でした。「織姫たちの競演」と名付けられたジェリービーンズコンサートは、「伝統と先進性を併せもつ横浜の二面性を表現したい」という横浜ジェリービーンズ倶楽部の皆さんのが想いが伝わる素晴らしい企画でした。梅雨時の緑かおる園内に楽器の音と歌声が心地よく響きわたり、伝統と新しさがリミックスされた異空間が生み出され、思い出に残るコンサートとなりました。

庭園内では、かわいらしい猫たちも見かけられ、小川のせせらぎを聴いていると、そこが庭園内だということを思わず忘れてしまいます。七夕という季節もあつて、浴衣でコンサートに参加した私は、庭園内を散策しながらそこが山中であるような錯覚を覚えずにはいられませんでした。三溪園では、古美術を愛した三溪の収集作品や三溪自筆の書画も楽しめます。季節を感じたいとき、日本の美しさに触れたいときには、横浜三溪園へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

桜が散つても花曆と共に
これから続く君との思い出
いくたび季節が通り過ぎても
緑を背に微笑みあおう



JUNKO ポップバンドCap rockの解散後、作詞家、ボーカリストとして活躍。さまざまな女性アーティストとのコラボレーションをめざし、多様な編成でライブ企画している。また、ワクレによる弾き語りライブを定期的に行うなど活動は多岐にわたる。

久良岐公園は汐見台団地の造成にあわせて整備され、1973年（昭和48）に開園した。園内北側は谷戸の地形に池や棚田、丘陵地などが配され自然に満ち溢れたつくり。一方の南側は運動広場や芝生広場、桜の林、横浜市電の保存車両などがあり、春には花見客でにぎわう。

北側の散策路のある雑木林の先に久良岐能舞台がある。

【交通手段】

■京急上大岡駅より

●京浜急行バス久良岐公園前下車。

■京急屏風浦駅より

●横浜市営バス久良岐公園前下車。

■JR根岸線磯子駅より

●横浜市営バス久良岐公園前下車。



Photo by Yabe Shihō

久良岐公園

ガイド＆モデル＝mico65 (hamajo)



春には桜の木で華やぐこの久良岐公園の北に、

ふいに時間の流れが緩やかになる場所があります。急に訪れる静けさに反比例するかのように、感情に飛び込んでくる膨大な情報量。閑とした空間にあたかもひとつ生命体がいるかのごとく、あたりまえ然として「それ」は居なのです。

「久良岐能楽堂」。

歴史ある日本の芸術「能」の舞台を備えた建物です。

この中にある能舞台は、1917年（大正6）に旧帝国ホテルそばに造られ、1965年（昭和40）ここに移築されたという生けるビンテージ。日比谷で。ここ久良岐で。いくつもの物語が繰り広げられたかと思うと、それだけで胸が高鳴ります。どんな人が、どうやって、何を経てここに立ち、何を思つたか。舞台に立つた人の、それを観た人の、いくつもの想いを受け止めてきたこの舞台は、どんな思い出を持つて今ここ

に居るのでしょうか。

歴史的建造物を芸術品として鑑賞するのではなく、共に歩んでいるということが、温もりと安心感を与えてくれる存在。

多くの人の心の声を聞いてきた能楽堂は、私にとつて静かな大先輩なのです。

木陰から胸ときめかせ、頬を赤らめた少女の気持ち。

美しい森の中で、愛を囁き合う恋人の会話。

空の下、目を輝かせて将来を誓い合う幼い初恋。

木漏れ日の中、培った歴史を振り返る成熟した愛情。

きっとそんな想いは今も昔も変わらなくて……。

そう思うと、人の心の機微を見つめてきたこの場所から、いろんな声が背中を押してくれるような気がします。何かを想うとき、こんな空間で耳をすますと、メールや電話では伝わらないコトバが、ネットや本では調べられないたくさんの人々の声が、何かを教えてくれるかもしれません。

花びらのように
地面に降る木漏れ日
何度も繰り返される
新しい別れと出逢い

mico65 幼少期から親しんできた写真、音楽を愛し続け音楽関連の撮影や企画参加など、範囲を決めずにひたすら自由に活動している。テレビ東京のドラマ「詐欺師リリー」の主題歌の作詞を始め、期間限定の携帯小説なども手がける。また、ヨコハマのカルチャーフリー・バー「hamajo」で撮影のほか、ライターとしても参加している。

昔ながらの雑木林や田園の風景が残る谷戸を生かした自然公園。野鳥や昆虫など多数の動植物も見られ、週末になるとハイキングやバードウォッチングをする人で賑わう。また、公園の周辺地域を「舞岡ふるさと村」として遊歩道や小川アメニティー（舞岡川）等が整備されており、自然の雰囲気を損なわないよ

うにされている。舞岡公園は横浜市が管理しているが地元市民団体によって運営されている。谷戸を守るために公園づくりは1983年（昭和58）ごろに始まった。実際公園としてオープンしたのは1993年（平成5）。
【交通手段】



Photo by Yabe Shiro

■JR東日本・横浜市営地下鉄戸塚駅東口より
●江ノ電バス京急ニュータウン行で終点下車すぐ。
■横浜市営地下鉄ブルーライン上永谷駅より
●江ノ電バス、横浜市営バス、神奈川中央交通の京急ニュー
タウン行で終点下車すぐ。

舞岡公園

ガイド＝Miyuki (LiLi) モデル＝河原咲江 (hamajo)



私の地元戸塚。その戸塚駅東口から江ノ電バ

ス京急二ユータウン行きに乗つて、「京急二ユータウン」下車徒歩1分にあるのが「舞岡公園」。

横浜市内にはほとんどなくなつた昔ながらの田園風景が残る、谷戸（やと）の地形を生かした公園だ。谷戸

というのは、台地や丘陵に小さな谷が複雑に刻み込まれた地域のこと。小さいころに何度か行つた記憶があるけれど、大人になつた今、あらためて足を踏み入れてみた。

土・草の匂い、水の音、鳥の鳴き声。公園に入ると別世界に来たような感覚になつた。木や草に囲まれた広場や丘に立ついたら、なんと野生のリスが！ リスだけではない。

野鳥も羽を休めていたり、虫の姿もチラホラ。沢山の動物や虫たちが私を出迎えてくれた。なんだかうれしくなつた。

突然、公園を散歩していたお婆さんが、「もうすぐ梅の花が

咲きそよよ。見てごらんなさい」と教えてくれた。そんな季

節の移り変わりを感じられる発見もここにはたくさんある。

お婆さんはもうひとつ教えてくれた。「公園に詳しい先生たちがいるのよ」と。先生というのは、この舞岡公園を支えている地元のボランティアのかたがたのこと。田んぼ・畑・

雑木林の作業や、公園内の明治後期の古民家を手入れしながら守っている。いわば舞岡公園のスペシャリストといったらいいだろう。

古民家のある「小谷戸の里」の事務局で申し込みすれば、農業体験や、バードウォッチングなど、1年を通して色々な行事を楽しめると先生は教えてくれた。

事務局の発行する「舞の里だより」には、行事予定が記載されている。公園に来たら、是非手に取つてみてほしい。

帰り際、気づけばあつという間に2時間が過ぎていて驚いた。時が経つことを忘れてしまう自然や人の温かさ、舞岡公園にはそんな魅力がたっぷりある。

園内には3つの池（上の池、中の池、下の池）がある。それらは江戸時代の1787年（天明7）に、農業用水のため池として浚渫・整備された。園内には35品種1000本を超える桜が植えられ、日本さくら名所100選の一つに選定されている。ソメイヨシノが7割を占め、春には花見客で賑わう。また神奈川県が選定した「かながわの探鳥地50選」にも選ばれており、林間の小鳥や池の水鳥も多くの種類が見られる。

【交通手段】

■JR新横浜駅より

●横浜市営バス 104系統乗車。6系統（東横線大倉山駅前



Photo by Ukiita Hideo

経由。三ツ池公園北門下車徒歩約3分。

■JR鶴見駅西口より

●横浜市営バス 6系統、67系統、104系統乗車。三ツ池公園北門下車徒歩約3分。●臨港バス 05系統東寺尾循環、06系統寺谷循環に乗車。寺尾中学校入口下車徒歩約7分。

県立三ツ池公園

ガイド=まんぽー(CHURU-CHUW) モデル=ひさの(hamajo)

鶴見区在住、鶴見を愛してやまないCHURU-CHUW（ちゅるつちゅう）ボーカルの「まんぽー」です。まだ僕が小さかったころ、3月になると毎年といつていいほど親戚の人たちと桜を見に行つた三ツ池公園。今では、親戚で集まつてお花見することもなくなつてしまつたけれど、僕の大切な思い出の場所です。

大人たちが笑顔で会話を花を咲かせている間、子どもの僕は見知らぬ子どもたちとすぐに仲間になり、身の丈よりもはるかに大きな滑り台と一緒にすべり降りていきました……。数年前にCHURU-CHUWのミニアルバムの撮影で久しぶりに訪れたとき、景色は少し変わつて見えたけど、その向こうには、あのころの僕が確かにそこにいました。

お花見のときのお決まりのコースは、正面入口を入つすぐ右側にある「コリア庭園」。そこをのぞいてから、「水辺の

広場」の先に見えてくる「中の池」「下の池」の間を通り抜けて、「いいいの広場」へ。そこにはいつも決まってお菓子欲しさに駄々をこねた売店があるんです。そこで、僕はなんとか両親から勝ち取つたお菓子を笑顔で食べたっけ……。

けれども、あの大きな滑り台は見つけられませんでした。僕が大きくなつてそれ程の大きさに感じなかつただけなのかかもしれません。

ともあれ、「上の池」を含めた3つの池は、あのころのままで僕たちを迎えてくれました。そこには色褪せるこのない子どものころの鮮やかな思い出がジェリービーンズの粒のようにたくさん残していました。鶴見は今でも下町の雰囲気を感じさせる人情の街です。三ツ池公園は、そんな街の中にあつて子どもたちが安心して遊び回れる代表的な公園です。

皆さんも是非、お子さんと一緒に足を運んでください。

今、君から見た水面は
どのように映るのだろう
景色は少し変わつたかも知れないけれど

まんぽー CHURU-CHUW（ちゅるつちゅう）とあばんぱんのボーカル。CHURU-CHUWは、鶴見区区制80周年のイメージソングを担当したり、地元のケーブルテレビ「YOHテレビ」にレギュラー出演している地域密着型のロックバンド。

churu-chuw.jp

第二次世界大戦後、現在の公園の敷地は米軍岸根部隊が駐留する「岸根キャンプ」だった。当時の施設には、病院、教会等があり、ベトナム戦争時（特に1968年＝昭和43ごろ）は、ヘリコプターが毎日飛来していた。1972年（昭和47）にキャンプの撤収に伴い横浜市に土地が返還され、公園として整備された。現在、園内には、野球場などがあり、周辺住民の憩いの場となっている。

【交通手段】
●電車の場合
横浜市営地下鉄岸根公園駅2番出口前すぐ。



Photo by Yabe Shiro

■ JR 横浜駅西口より

- 横浜市営バス 39系統乗車。篠原池下車。
- 横浜市営バス 291系統乗車。横浜駅西口～片倉町駅～大口駅で岸根公園前下車。
- 横浜市営バス 38系統乗車。六角橋北町下車。

岸根公園

ガイド=宇田晋也（N.U.） モデル=山口真麻（hamajo）

横浜市営地下鉄「岸根公園駅」（2番出口）から徒歩10秒！改札を出て地上に出ればそこはもう、岸根公園の入口です。
木製の浮き橋の架かる大きな篠原池や、2つの芝生広場、子どもたちに大人気のフィールドアスレチック風の「忍者とりで」。それらにプラスして大小2面の野球場と、県立武道館までもが一緒になった広大な公園が横浜から地下鉄で9分というアクセスのよい場所にあるのです。

ぐるっと歩いて一周すればおよそ15分の岸根公園には、週末ともなると、たくさん的人がジョギングやピクニックを楽しみにやって来ます。僕もその一人。散歩をしながら曲のメロディーを探したり、歌詞を考えたりしています。春には園内のあちらこちらで花を咲かせる桜の木々。とくに公園の北側、鮮やかなピンクに染まつた遊歩道はまるで「桜のトンネル」。僕はこの道を歩くのが大好きです。

遊歩道の先に待っているのがこの公園でいちばん広い芝生広場「ひょうたん原っぱ」。ここは僕たちのバンドN・U・の歴史を語るうえで外せない想い出の場所です。まだN・U・を結成して間もないころ、僕たちは新聞配達をしていました。当時ギターがまったく弾けなかつた僕は朝刊配達後に相方の庭瀬に弾き方を教えてもらいながら、毎朝原っぱの端っこでアコースティックギターをかき鳴らし、練習をしていました。また、ひょうたん原っぱの周辺は1周約730㍍のジョギングコースとなっています。道幅も広く、芝生の広場が見渡せるので爽快な気分で走ることができます。2006年FMヨコハマの番組で「横浜市民マラソン」へのエントリーを宣言したときは、ここが毎日の特訓コースになりました。ギターにマラソンに、そして生み出す楽曲に……岸根公園は僕たちN・U・を育ててくれた公園といつても言い過ぎではないかも知れません。▼

春風 ひらり君の髪を ふわり弾ませてく
そんな風景を 心のシャツターニ刻んで
桜のトンネル ぐぐってゆく 君を見ていたくて
靴ひも直すフリをして 後ろをゆく
春の公園DATE

宇田晋也（N.U.）脱サラアコースティックユニット「N・U・」のボーカル&ギター。
就職先の一社企業で庭瀬幸一郎と出会い、N・Uを結成。物語性ある歌詞と切ないメロディーが共感を呼び2007年に「泣きうさぎ」がオリコンチャートイン。野外フェス「ヨコハマアコフェス」を2010年、2011年と2年連続で開催し成功させた。

<http://nivasseeds.com/>

横浜市営地下鉄「岸根公園駅」（2番出口）から徒歩10秒！改札を出て地上に出ればそこはもう、岸根公園の入口です。

木製の浮き橋の架かる大きな篠原池や、2つの芝生広場、子どもたちに大人気のフィールドアスレチック風の「忍者とりで」。それらにプラスして大小2面の野球場と、県立武道館までもが一緒になった広大な公園が横浜から地下鉄で9分というアクセスのよい場所にあるのです。

ぐるっと歩いて一周すればおよそ15分の岸根公園には、週末ともなると、たくさん的人がジョギングやピクニックを楽しみにやって来ます。僕もその一人。散歩をしながら曲のメロディーを探したり、歌詞を考えたりしています。春には園内のあちらこちらで花を咲かせる桜の木々。とくに公園の北側、鮮やかなピンクに染まつた遊歩道はまるで「桜のトンネル」。僕はこの道を歩くのが大好きです。

1866年（慶応2）、日本初の恒久的な洋式競馬場としてつくられた横浜競馬場がこの公園の基礎。1945年（昭和20）9月、アメリカ軍により接收され、その後馬場内エリアは米軍専用のゴルフ場となっていた。現在の芝生はその名残。1969年（昭和44）にスタンド以外の接收が解除され、横浜市による整備

の上、1977年（昭和52）10月に根岸森林公園として開放された。1982年（昭和57）にはスタンドも返還され、現在は一等馬見所が保存され、その裏手にはモーガンの設計図や竣工当時の写真パネルが展示されている。近隣には米軍根岸住宅地区、松任谷由実（当時は荒井姓）の「海を見ていた午後」で

歌われた、レストランのドルフィンなどがある。

【交通手段】

■ JR 根岸線根岸駅より

横浜市営バス 103系統・366系統（横浜駅行き）・21系統（桜木町駅行き）乗車。旭台バス停下車すぐ。

根岸森林公園

ガイド&モデル=新海 美早紀 (hamajo)

です。

たくさんの人で賑わう春独特の森林公园の光景も桜と並んで見応えがあります。家族や、友だち同士や、恋人たちが、広々とした園内で、体を動かしたり、寝転んだり、手をつないで歩いたり……。それぞれの楽しみ方で春を満喫している様子が私は大好きです。

この公園の名物とも言えるのが隣接の「根岸競馬記念公園」です。馬術の練習場があつたりポニーと触れあつたりで森林公園に来るたびに、昔、気になっていた男の子に「あそこに行つてみたい」と誘つて、お花見をこつそり抜けた

季節の訪れを感じずにはいられない、春。私の大好きな季節です。春には、毎年、根岸森林公園でお花見をするのが楽しみで、あのピンクに染まつた景色を見ないと気が済まなくなるほどです。

ことを思い出します。鼻の上をなでると「につ」と歯を出して笑ったポニーの顔を見て、二人で笑い合つたことが懐かしい。手をつないで、そこから少し歩くと昔ここが競馬場だったことをしのばせる「一等馬見所」。観覧スタンドの壁面には萬が絡まり、その外観はまるで、古城のよう。見ているだけで溜息が出てしまっほどでした。そしてその反対側に目をやるとモダンなランドマークタワーが遠くに……。

好きな人と一人で暖かい春の陽に包まれてすごく幸せな気分でいたことを思い出します。

あの日の彼と今はもう連絡が途絶えていますが、自分の大好きな人たち、家族や友だちといつしょに公園で素敵な時間をつくれたらしいなと思います。

去年の春は、悲しい出来事がありいつもより桜が遠退いているような感じがしました。今年は、桜にもつと近づいて幸せな気持ちになれるよう頑っています。▼



Photo by Yabe Shiho

新海 美早紀 1991年7月22日生まれ。シンガーソングライターの卵。最近は「Libyan desert grass」というユニットとしても活動中。趣味は読書・買い物・DVD鑑賞。hamajoでモデルとしても活躍している。

1930年(昭和5年)に開園した山下公園は、関東大震災で生じた焼け土や瓦礫(がれき)を埋め立ててできている。復興記念横浜大博覧会の開催(1935年=昭和10年)や、アメリカ軍による接收(1945~59年=昭和20~34)などを経て、1961年(昭和36年)に再整備が完了、同年には日本郵船氷川丸

も係留され、現在のような姿となった。園内にはさまざまな記念碑がある。「赤い靴はいてた女の子の像」、「かもめの水兵さんの歌碑」、「日米友好ガールスカウトの像」、西洋理髪発祥の記念彫刻「ザンギリ」なんていふものも。サンディエゴ市から贈られた噴水「水の守護神」や在日インド人協会から寄贈され

た「インド水塔」など、開港都市ならではのモニュメントもある。

【交通手段】

■ みなとみらい線 日本大通り駅、元町・中華街駅より徒歩5分程度。

■ JR 横岸線 石川町駅・関内駅より徒歩10~15分程度。

山下公園

ガイド=庭瀬幸一郎(N.U.) モデル=国井ゆみ(hamajo)

N.U.の庭瀬です。正直なところN.U.の楽曲の中には「山下公園」を中心には海沿いの街をイメージして作詞した作品が多いです。「ベイブリッジの下を♪船がくぐって行く♪」これは『三つ年下』という曲のフレーズですが、山下公園からの景色を見て作詞しました。「海沿いの公園」や「海の見える公園」とか、直接、具体的な表現がされてなくてもかなりたくさんインスピレーションを山下公園からもらっています。大阪から来た者としては山下公園は公園というより観光地のイメージが強かつたせいかなあ。

左を見れば大さん橋でしょ。豪華客船が停泊している光景に目を奪われるし、目を轉じればその向こうは赤レンガ倉庫。そして正面にはベイブリッジが! ドラマのワンシーンで出てくるような「横浜ヒュー」がいくつも目の前にある。

そんな風景を、平日は仕事休憩中のサラリーマンや子連れ

のお母さん、休日には観光客や家族連れや恋人達が、ぜいたくに使っている。そんな光景を見ているだけで、楽曲のイメージがどんどんわいてくるのです。

「みなとみらい」から山下公園をめざす散歩コースも歌の浮かぶコースです。みなとみらいで「観覧車♪」を見上げて時間を確認し、コスモワールドを抜けワールドポーターズへ。海沿いを歩けば「海に溶ける赤レンガ♪」があなたを迎えてくれます。右手奥には、「マリンタワー」がチラリ「とても大きく見えるの♪」。そのまま象の鼻パーク沿いに遊歩道を歩けば「大さん橋の先端で一人♪」になつてちょっと感傷的になつたりして。

ともあれ、昼と夜、平日と休日で、それぞれ違った「横浜ヒュー」を見せてくれるのが山下公園とその周辺の魅力だと思います。

ふらつと遊びに行つてみてはどないでしょ。▼

潮風に吹かれながら歩く山下公園
汽笛の音と子どもたちの笑い声
今日も笑顔があふれてる



庭瀬幸一郎(N.U.) フォーグデュオ
N.U.のギター&ボーカル。大阪生まれ。1998年、就職がキッカケで横浜に移り住んで早14年。横浜に魅せられ、横浜に魔法をかけられ、「T企業の営業マンからミュー・シャンへ転身! 全国アピュー以降も横浜に根差した活動を展開中。2010年より野外フェス「ヨコハマアコフェス」を主催している。今年も10月に開催予定。

Photo by Yabe Shiro

しだれ桜

しだるるといふ

やさしさを

おのれにゆるし

春深く咲く

水原紫苑

原著

大部完保

桜はみんな好きだ。

早咲きの河津桜も、

一齊に咲く染井吉野も、

葉っぱが赤い山桜も、

どの桜も美しい。

中でも、しだれ桜は、

あんなにもゆつたりと

しだれることのできる、

大人の女のようなやさしさに惹かれる。

年を重ねて、

しだれ桜のような女に、

なれたらうれしいが、

むづかしそうだ。

みずはりしおん　歌人　1915年、神奈川県生まれ
早稲田大学文学部院修了　春日井市にて師事し、以降
歌集『あらか寄人』(まつどう)、くわんおん(観音)
『ひるせ』(あかるくへ)、著作『世阿弥の墓』、『星の肉体』
『京都つた物語』などを発表。現代歌人協会賞受賞、駿
河梅花文学賞、河野愛子賞など多数受賞。
やべしほ　写真家。1974年生まれ。専長は肖像。同
志社女子大学短期大学部日本語日本文学科卒業。96年
ドイツに渡り、日本語教師となる。帰国後、平地町に
師事し、独立。渡辺貞夫らミュージシャンを多く撮影し
てゐる。

日吉の人気スタイリストは 有言実行で自分を追い込むタイプ 石川あきこさん

スタイルリスト



積極的に店の外へと活動の場を広げる

日吉の駅前に位置する美容室アクト・ジップは、場所柄もあって、学生のお客が多い。「でも、ここは住宅地ですので、ご近所のお客さまも多く、客層は幅広いですね」と、この店でスタイルリストとして働く石川あきこさんは語る。

「日吉という立地のおかげで、東京方面からもたくさんいらっしゃいますね。それに、私のブログ（インターネット上の日記）をご覧になつた方が、いろんなところからご来店されます。中には北海道や大阪からのお客さまもいて、本当にびっくりするほどです」

石川さんは、若手ヘアスタイルリストの登竜門的コンテストである「ジャストカット」で見事に8位に輝き、髪書房賞を受賞した。これを皮切りに、さまざまな公募プログラムに申込み、入選を重ねてきた。

「コンテストの魅力は、自分の世界を思いきり出せるところ。ふだんの仕事は、当然、お客さま第一です。いくらかわい

とても、セットがむずかしい複雑な髪型にはできません。それに、その場限りでなく、一ヶ月後もかわいくないとダメ。

その点、コンテストはその一瞬が最大限にかわいければいいわけですから」

お客様に自慢していただける受賞

コンテストに入選することは仕事にも結びつく。

「コンテストは面白い。自分が楽しめればお客様も樂しくなるはず。受賞を喜んでくださる方もたくさんいます。それに友だちに『私の担当スタイリストが賞を取つた』と自慢するお客様も多く、その方のご紹介で新たなお客様がいらっしゃつてつながっていくんですよ」

今年は、「ルベル・デザインアワード」で準グランプリ（クリエイティブアワード）を受賞した。

同コンテストは美容業界では最大規模のイベント。石川さんは地区予選を勝ち抜き、全国大会までたどり着き、そこで獲得した栄誉だ。

それでも石川さんは、その結果に100%満足していない。「つぎは絶対、優勝します！ 私、有言実行タイプなんです。周りに宣言して、自分を追い込むんですよ」

トータルでお客様をかわいくしたい

昨年から石川さんは、雑誌2誌でスタイルリングとメイクアップも手がけるようになつた。ひとつは、横浜が大好きな女の子“ハマジョ”たちがつくる、その名も『Hamajo』。7月の創刊以来、石川さんはモードページを担当、コンセプトづくりからモデル選び、ロケ地探しまで積極的に関わっている。

「子どものころはまんが家志望で、もともとのをつくることが大好きなんです。コンテストでは衣裳を自分で作ることも。だから、トータルでプランを立てられる『Hamajo』の仕事が楽しくて。これは、店での仕事も一緒。トータルでお客さまをかわいくしたくて、ファッションの相談にもよく乗ります」

また、昨年11月には小説の別冊として「J-BG (Jelly Beans Girl)」が創刊され、その表紙のモデルのスタイルリングとヘアメイクを石川さんが担当した。

「横浜信用金庫さんが選んでくれた撮影場所が、なんと私の大好きな横浜美術館内のカフェ小倉山だったんですよ」。東横線沿線で生まれ育ち、今の職場も日吉。「東京は刺激をもらいう街。横浜はほつと安心する感じ。ホームです」▼

いしかわ あきこ 日吉の美容室「ACT ZERO」(アクト・ジップ) スタイリスト。1987年、横浜市生まれ。神奈川工業高校デザイン科卒業。横浜ヒューティーアート専門学校美容科修了。2009年「若手ヘアスタイルリストの登竜門的コンテスト「ジャストカット」8位(髪書房賞)を受賞し、入選を重ねる。今年は「ルベル・デザインアワード」で準グランプリ(分野ハイティップアワード)を受賞。ACT ZERO <http://actzip.jp/> ハマジョ <http://www.hamajo.jp/>

ザ・タイガース時代の沢田研二には関心がなかった。タイガース解散後に結成されたPYGというバンドに彼が参加してから興味を持つようになつた。バンドの音楽性がブリティッシュ・ロック志向で好みに合つていただけだ。

「花・太陽・雨」「自由に歩いて愛して」などのオリジナル曲もよかつたのだが、大手芸能プロダクション（渡辺プロダクション）に所属していることにより観客が反発し（注）、ツインボーカルの相方、萩原健二が俳優活動に傾斜していったため、PYGは沢田研二と井上堯之バンドとして活動するようになった。

1973年に「危険なふたり」がヒットして、以後、1985年に渡辺プロダクションから独立するまで、沢田はスーパースターとして時代の先端を走り続けた。その勢いは時代の波に乗つたといふよりも、時代の虚空に自ら橋を架けて疾走するという感じだった。

とくに70年代後半から80年代前半にかけては、シングル1曲ごとに趣向を凝らし、コスチュームも過激さを増していく。当時の沢田のシングルは、ポップあるいはロックをコンセプトとして、編集スタイルを毎号大幅に変更する季刊誌のようだった。あのころの「ジュリー」はメディアだったのだ。

一曲のテーマは暗くて重いものが多いのだが、その暗さや重さを突き放すように諦観的に歌う沢田には都会的な感性があふれていた。ポップ（商業的）であることをロックであることを両立させて、

沢田はPYG時代の批判に応えたのである。スーパースター時代の沢田に最も多くの詞を提供したのは阿久悠だが、彼は同氏の「カッコいい歌詞」は好きじやなかつたと毎日新聞のインタビューで語っている（^{2011年}）。あの時代は多くを人にまかせていた」ともいう。確かにあれほどのパフォーマンスを本人がひとりでプロデュースできるはずがない。周知のよう、現在の沢田研二は太つている。ほぼ同世代の森進一（^{1949年生まれ}）や少し年下だが、郷ひろみ（^{1959年生まれ}）が、体型（外見も？）を若いころと同様に保つてゐるのは対照的である。彼らにできるのだから沢田にも当然できるはずだが、それをするやらないのは彼の意志なのだろう。

「緑色のkiss kiss kiss」は、横浜に住む沢田研二が「横浜の角から平和を祈るよ」と歌う作品である。2009年に発表した『Pleasure Pleasure』という6曲入りのミニアルバムに入つてゐる。「横浜の空から緑色の風を緑色の風のkiss kiss kissを悲しみの世界に届けたい」というサビの伸び伸びした歌声が魅力的な曲である。彼は上記のインタビューでも、震災や戻原発への思いを自分の言葉で歌いたいと語つてゐる。この曲を聴くと大震災以前からボリシーを維持していることがわかる。

2011年秋から今年にかけては、ザ・タイガースのメンバーが揃つて全国33都市でライブを行つた。現在の沢田は、ごく自然に「ジュリー」をセルフプロデュースしている。沢田研二はやはりメディアなのである。▼（中島久）

How To Taste Musics In Yokohama.

横浜の聴き方

第12回

『緑色のkiss kiss kiss』

沢田研二是メディアである



ジエリービーンズ×masコ ンサート

2011年12月24日（土）横

浜信用金庫では、横浜のマーケティングを実践する「横浜ジャービーンズ俱乐部」事業を展開しています。同俱乐部は「横浜の価値を高める各種の活動を行うことを目的としており、横浜観光プロモーションフォーラムによる認定事業になつています。近実施された同事業についてご紹介します。

浜美術館グランドギャラリーにおいて、金沢少年少女合唱団によるクリスマスコンサートを開催しました。小学生から大学生までの18名と卒園生6名によるクリスマスソングの合唱で、会場はクリスマスムードに包まれました。

■編集後記

「横浜キャンベルカファ」の一環として横浜ワールドポーターズ前広場でジエリービーンズコンサートを開催しました。

特集「春の公園歌しるべ」で舞岡公園（8頁）を紹介してくれたMiyukiさん方が所属するバンドLiLiが、5月に4枚目のミニアルバム「Innig」を発売しました。

岸根公園（12頁）を担当してくれたのは、アコースティックデュオN・Jの宇田晋也さんですが、勤務先を退職してN・Jを結成したとき、宇田さんはギターが弾けなかったのですね。本文でサラッと述べていますが、驚きました。

度胸がいいというか、泥縄式というか、作家になると決めてから、日本語を学ぶようなものでしようか。同じN・Jの庭瀬幸一郎さんも、担当した山下公園（16頁）は、確かに歌の材料には事欠きません。

同じN・Jの庭瀬幸一郎さんは、確かに歌の材料には事欠きません。ちなみにN・Jのふたりは理工系の大学出身で、庭瀬さんの卒論テーマは「タービン翼の熱冷却効果について」。宇田さんのそれは「アレキサントライトレーザー」。歌を創るのは一種の化学変化なのかもしれません。

N・Jが主催した「ヨコハマアーバン開港の丘」周辺だけ雨が降らなかつたのです。N・Jには人の観客を集めました。とくに昨年の「アーバン」は会場（象の鼻パーク）開港の丘周辺だけ雨が降らなかつたのです。N・Jには単なる運以上のものがついているように思えます。（中島久）



Photo by Ueda Hideto



Innig
YOKOHAMA WEDNESDAY MAY 2, 2012
LiLi

また、三溪園（4頁）を担当してくれたJiro Kondoさんには裏表紙にも登場していただきました。

また、三溪園（4頁）を担当してくれたJiro Kondoさんには裏表紙にも登場していただきました。

横浜ルネサンス No.19

2012年5月30日発行

発行 横浜信用金庫

〒231-8466 横浜市中区尾上町 2-16-1
Tel:045-651-1451 (代) Fax:045-651-2303
<http://www.yokoshin.co.jp>

編集 / 制作 横浜信用金庫総合企画部

（横浜ジャービーンズ俱乐部）
<http://www.yokoshin.co.jp/jbeans.html>
E-mail:jbeans@yokoshin.co.jp



横浜観光プロモーションフォーラム
認定事業
横浜の観光・コンペニショニングに携わる約180の企業・団体・市民事業所からなる組織で、横浜への来訪者を増やすことを目的として活動しています。「横浜ルネサンス」を発行する「横浜ジャービーンズ俱乐部」事業は、同フォーラムの認定事業となっています。



1粒も
おいしいけど
集めてみると
虹みたいに
ステキな街
ヨコハマ



横浜のニックネーム《Jelly Beans》
をデザインしたジェリービーンズ通帳とカード



ジェリービーンズ通帳



ジェリービーンズカード

横浜信用金庫

<http://www.yokoshin.co.jp/>